



第8回

# 木育サミット

2021年2月・毎週土曜日 13:00~

■ 今年はオンラインでの開催となります ■

参加申込は

参加ご希望の方は下記URL、もしくは  
QRコードよりお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/6793fa3194444>

開催の数日前までに Zoom ミーティング URL をお知らせいたします。



参加費無料

木育サミット 検索

昨年の開催プログラムを掲載しています。

お問い合わせ：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 tel: 03-5367-9601 fax: 03-5367-9602 Email: mokuiku@art-play.or.jp

主催：認定NPO法人芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館 後援：一般財団法人 地域活性化センター・公益財団法人 森林文化協会・日本木材青壮年団体連合会・  
一般社団法人 全国木材組合連合会・東京原木協同組合・東京木材問屋協同組合・東京木場製材協同組合・東京木材市場株式会社・国際木文化学会・日本木文化学会



第8回

# 木育サミット



## 持続可能な社会のために木育ができること

木に親しみ、木を活かし、木と共に生きていく「木育」の活動を多くの方に知っていただくための木育サミット。今回は消費者・生活者が小さなアクションを積み重ねることができる木育の活動を提案するため、「木育」とSDGsとの連携、子どもを中心として多世代へ広がる「木育」、業種業界の枠を飛び越えた分野横断で広がる「木育」などの視点に立ち、持続可能な社会の構築に向けて議論を深めます。

### 主催者挨拶



多田 千尋 認定NPO 法人芸術と遊び創造協会 理事長・東京おもちゃ美術館 館長

2013年度から開催されている木育サミット。これまでは全国の木育推進地域を開催地として木育の最新情報を発信してまいりましたが、今年度は初のオンライン開催によって全国各地の皆様にご参加いただけることを大変喜ばしく思います。

私たちは、暮らしに「木」を取り入れ、子どもをはじめとする全ての人たちが木のぬくもりを感じながら豊かなくらしを送ることを目指す「ウッドスタート」の取り組みを進めております。また、秋田県、岩手県、山口県など全国に木育推進拠点となる姉妹美術館の展開も推し進めているところです。私たちはこうした取り組みの中で、各地の林業・木材関係の皆様、木育実践者の皆様との連携・協働を行って参りました。全国各地に木育という言葉が広がり、活動が展開されていく中で、今年度は新型コロナウイルスに大きな影響を受けた一年となりました。木育に携わる者として、今後はウィズコロナ、アフターコロナにおける木育の在り方を考えていかなければなりません。持続可能な社会の構築に向けて木育はどのような貢献ができるのか、これまでの木育の到達点を確認しながら木育を進化・深化させていく場になることを期待しております。

### 応援メッセージ



本郷 浩二 林野庁長官

2020年は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍に見舞われ、全世界で社会・経済に大きな影響が生じました。木育活動も大きな制約を受けたと思います。今回の「木育サミット」は、こうした状況下でも木育推進の流れを止めないよう、ピンチをチャンスに変えるべく関係者の皆様が知恵を絞り、オンライン形式で開催いただけることとなりました。関係者の皆様方のご尽力に敬意を表します。

オンライン開催のメリットとして、全国どこからでも気軽にご参加いただける点があげられます。また、複数の分科会に参加できることから、参加者間の分野を超えた情報交換・意見交換が期待されます。コロナ禍で、新たな日常、新しい働き方など、私たちのライフスタイルも大きく変化しています。家族と一緒に過ごす時間が増えたり、自然との関わり方が見直されたりと、木育にとって追い風になる要素も含んでいます。

この新しいスタイルのサミットを通じて、地域課題解決のための木育や、多世代に広がる木育などの「今」を知っていただくとともに、今後の木育の在り方を考える機会として議論が深まり、全国各地で木育の機運がより一層高まるとともに、関係者間の連携が更に広がることを大いに期待しております。



椎川 忍 一般財団法人 地域活性化センター 理事長

稲作と漁業で生きてきた日本人の原点は、森、里、海の水の連環です。山があるから雨が降り、森があるから水が蓄えられ、きれいな湧水が出るのです。その水を稲作に使い、汚さずに海に返してきたから豊かな海が維持されたのです。今こそ、このような民族の歴史に学び、サステナブルな社会をつくっていくことが求められています。現在、わが国の森林は最盛期にあり、それを活用すべき時期にあります。そこで、私たちは国民運動として、短期的には都市住民（自治体）が山村地域の木を活用する

運動を展開するとともに、長期的な視点では小さな子どもたちに木のおもちゃに親しんでもらい、森を大切に作る気持ちを育んでいく運動を展開してきました。その象徴的な取組がこの木育サミットです。

私も第1回からすべて参加させていただいていますが、このサミットにより、さらに多くの自治体や住民の方々々が木育に関心を持っていただき、自らの生活のなかで実践していただくきっかけになることを心から願うものです。

2021年2月1日～28日 期間中、いつでも視聴可能

**特別対談** 本郷 浩二（林野庁長官）× 多田 千尋（東京おもちゃ美術館 館長）  
『木育のこれからとウッド・チェンジ!』

森林や林業の実態、将来のあるべき姿は、一般消費者にはなかなか理解しにくいもの。しかし、それも「木育」というフィルターを通せば、身近に感じたり、小さなアクションを起こすきっかけになるかもしれません。そこで本企画では、日本の森林の未来のために、私たちは何を考え何をすべきなのか、東京おもちゃ美術館館長の多田が、本郷林野庁長官を直撃し、明日からの木育のヒントを探ります。

2月6日(土) 13:00～14:30

企画① くらしに根づく"当たり前"の木育

2月13日(土) 13:00～14:30

企画② 持続可能な社会にむけて、次世代をはぐくむ  
～木育×SDGs推進における各地域の実践～

2月20日(土) 13:00～14:30

企画③ 子どもを中心に木育を考える ～コミュニティにおける木育の役割～

2月27日(土)

13:00～15:00 企画④ デザイン視点で考える木育普及の可能性

15:30～16:30 企画⑤ 「儲かる」木育  
～「花巻おもちゃ美術館」の挑戦～

2/6

企画① 13:00～14:30

くらしに根づく"当たり前"の木育

"あたりまえ"なものにほどこだわりたい。家、インテリア、旅、日用品、食べる、寝るetc...。日々のくらしにある、あらゆるモノやコトにこだわる時代がいま求められています。今回は、その"あたりまえ"のくらしの中から、『食』にフォーカスした木育をお届けいたします。身近なところから木育を取り入れ、こだわりをもって毎日を過ごしてみる。そんなちょっと前のめりな木育アンバサダーに皆さんもなってみませんか？

青野 裕介（株式会社Tree to Green）  
佐々木 一弘（オークヴィレッジ株式会社）  
長谷川 泰治（株式会社長谷川萬治商店）  
谷地 譲（有限会社谷地林業）



2/13

企画② 13:00～14:30

持続可能な社会にむけて、次世代をはぐくむ  
～木育×SDGs推進における各地域の実践～

SDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)は、2015年9月の国連総会において、193の加盟国により全会一致で採択された2030年までに達成すべき17の目標です。「木が好きを育てる活動」である木育は、対象年齢や活動内容に制限がない自由度の高い取組であるとともに、森林や環境にまつわる問題を自分ごととして捉える点や、企業、自治体、教育機関、住民等の多様な人々の力を合わせて取り組む点から、SDGs推進にも寄与していくものと考えられます。今回は、各地域での様々なセクターによる木育実践事例をもとに、SDGs推進に向けたビジョンを話し合います。

青木 亮輔（株式会社東京チェーンソーズ）  
田口 浩継（熊本大学）  
多田 啓（株式会社アサモク） / 他



2/20

企画③ 13:00～14:30

子どもを中心に木育を考える  
～コミュニティにおける木育の役割～

木の家で暮らす、木の物を使う、木のおもちゃで遊ぶ、樹や木を通して繋がりを持つ等、様々な場面において木育には多様な在り方が考えられます。また、木育は子どもを中心に親、地域、幼稚園や学校、企業など色々な場を繋げ日常のいたるところにあるとも言えます。ここではまずは子どもに焦点をあて、そこから地域や学校、企業などを巻き込んで木育がどう展開されているのかを考えます。これから木育をはじめようとしている方にとっては「最初の一步」をどう踏み出せばいいのか、誰と手をつないで活動を進めればいいのか、そのヒント満載の企画です。

一條 達雄（一條ランバー株式会社）  
松崎 美穂子（NPO法人 子育て支援ネットワークとくしま） / 他



2/27

企画④ 13:00～15:00

デザイン視点で考える木育普及の可能性

ライフスタイルや働き方の考え方などが変わる今、暮らしや働く場に木を取り入れる事例が増えています。木を素材として扱うデザイナーや、オフィスなど様々な空間の木質化に取り組む企業など、新しい木材活用事例から、今の社会において再認識される木の良さを考えます。モノ・環境を作る人の視点から見える木の良さや各事例の課題点や工夫を共有することで、異なる分野の人同士がともに木育に取り組むためのヒントを探り、木育活動をより大きなムーブメントに発展させるきっかけを考えます。

大谷 忠（東京学芸大学大学院） / 小島 勇（株式会社イトーキ）  
水谷 伸吉（一般社団法人more trees） / 他



企画⑤ 15:30～16:30

「儲かる」木育  
～「花巻おもちゃ美術館」の挑戦～

地方都市における「人口減少」「地域経済の停滞」「林業林産業の衰退」など様々な地域課題解決のために、民間活力を導入しながら、木育の視点から、その課題をどう解決することができるのか、「花巻おもちゃ美術館」の事例を元に、その可能性を探ります。花巻おもちゃ美術館は、閉店した地域経済の要であった「マルカン百貨店」の再生の中で、地元の小友木材店が中心となって取り組んできました。その設立の過程や方法、日々の取組について報告をいただき、地域を元気にし、かつ「儲かる」木育のあり方について考えます。

小友 康広（小友木材店）・平野 裕幸（花巻おもちゃ美術館）  
木下 斉（まちビジネス起業家） / 山下 晃功（島根大学）  
進行役：馬場 清（芸術と遊び創造協会）

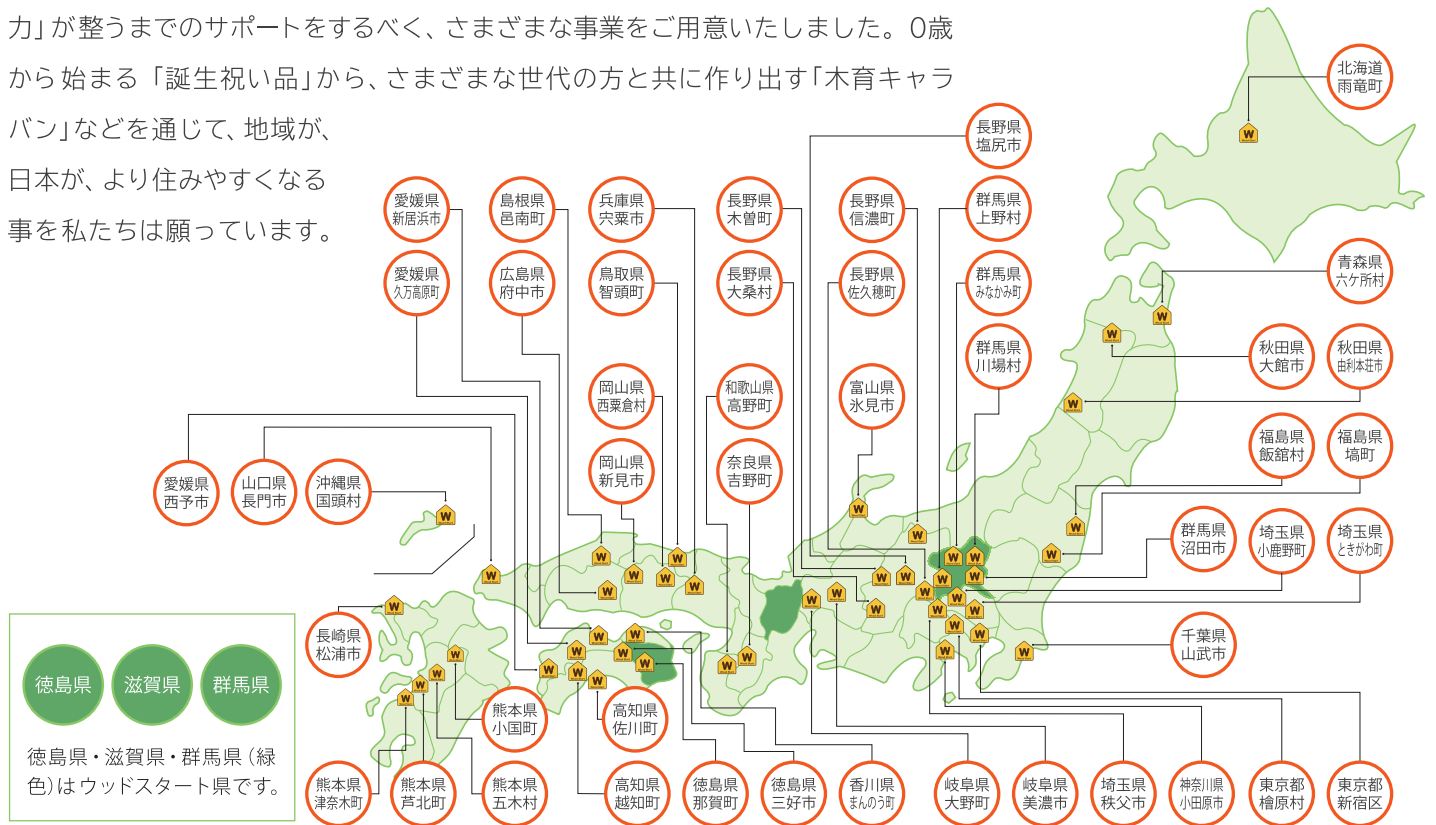


## ◆東京おもちゃ美術館のウッドスタート活動について

### 山と人と地域をつなぐ

### 「木のある暮らし」が産み出す「地域『木育』力」

ウッドスタート活動とは、地域それぞれの山の魅力、木の美しさの人々に伝え、街の方々の心に「山や地域への興味」を産みだす活動です。その理念の最終的な目標は、持続可能な社会、環境にあります。その実現は短い時間では難しく、また私たちの力だけでは足りません。そこで、私たちは地域の皆様の「伴走者」として、地域全体で自然や環境の事を考え、循環していく「地域木育力」が整うまでのサポートをするべく、さまざまな事業をご用意いたしました。0歳から始まる「誕生祝い品」から、さまざまな世代の方と共に作り出す「木育キャラバン」などを通じて、地域が、日本が、より住みやすくなる事を私たちは願っています。



## ◆幅広いターゲットを見据えた8つの事業



誕生祝い品

地元の木工職人が、地域材で制作した木のおもちゃを赤ちゃんに贈る取り組みです。生まれてきた親子に木の魅力を伝えます。



木育キャラバン

木のおもちゃいっぱいの移動おもちゃ美術館は、子どもだけでなく、幅広い世代に木のおもちゃの魅力を伝えます。



木育インストラクター

木育のスペシャリストを養成する講座です。地域で、木と触れ合う場所を活かし、学びを提供し、木とともに生きる方法を提案していきます。



木育円卓会議

森林・林業・林産業に従事する人たちと、子育て支援関係者、自治体の担当者をシームレスにつなぎ、地域の将来を語り合う場です。



参加型木育イベント

木に親しみ、木と共に生きていく「木育」の活動の見解を深めるイベント。講座形式のものから販売方式まで、幅広いチャンスをご提供します。



木育PRムービー

誕生祝い品の紹介始め、木育に関する地域の取り組みを紹介していくための動画を作成。さまざまな媒体での広報戦略に役立ちます。



姉妹おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館の総合監修のもとで建てる「姉妹おもちゃ美術館」です。あらゆる木育の取り組みの「発信拠点」として、多くの方を招きます。



空間木質化

保育園やショッピングセンターなどさまざまなサイズの空間を木質化し、五感全てで木の魅力を感じられる空間の整備を行います。

## ◆主催者紹介

### T 東京おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館は、おもちゃを手にとり、触れて、遊ぶことができる体験型の美術館です。手作りおもちゃを作ることができる「おもちゃこうぼう」や、季節のイベントなど、子どもだけではなく、赤ちゃんから大人まで多世代で楽しめる、さまざまなコンテンツを取り揃えております。また、国産の木材のみで作られた「おもちゃのもり」や、赤ちゃんが木の匂いや触り心地をふんだんに感じる「赤ちゃん木育ひろば」では、木育にふさわしいコンテンツを提供しております。

※現在、東京おもちゃ美術館は新型コロナウイルス等の感染予防のため、完全予約制となっております。詳しくはHPをご覧ください。

## ◆木育拠点としての姉妹美術館マップ

全国各地で木育を推進していくため、木育拠点としての姉妹美術館の設立が進んでいます。



## ◆これまでの木育サミット

回数	開催日	開催会場	テーマ
第1回	2014年3月16日	東京学芸大学芸術館（東京都小金井市）	語り合おう 木育の「今」と「未来」
第2回	2015年1月27日	新宿文化センター大ホール（東京都新宿区）	木を繋ぐ 木で繋がる 木から始まるコラボレーション
第3回	2016年3月11日	レザンホール・塩尻市文化会館（長野県塩尻市）	木育を「アルプスの麓」から考える
第4回	2017年2月23日	ティアラこうとう（東京都江東区）	日本の未来を木育が創る
第5回	2018年2月24日	秩父宮記念市民会館（埼玉県秩父市）	あらゆるライフステージを木育で彩る
第6回	2019年2月16日	あわぎんホール（徳島県徳島市）	四国の森から始まる「木育」の話
第7回	2020年2月8日	木材会館（東京都江東区）	木育が創る・動かす 日本の未来

## ◆木育情報のポータルサイト：木育ラボ

### もっと知りたい！木育のこと ウッドスタートのこと

木育の行動プランの一つである「ウッドスタート」をはじめ、様々な団体が展開している木育の取り組みを紹介し、全国各地に発信していくためのサイトが「木育ラボ」です。このサイトを中心に、全国で木育を推進している組織・団体を結びつけ、より強固な木育ネットワークの構築を目指して活用を進めていきます。



<https://www.mokuikulabo.com/>

木育ラボ

検索